

★食前服用のお薬について★

Q1、食前に飲むように指示されているお薬は、どのタイミングで服用すれば良いですか？

A1、一般的に食前とは食事の1時間～30分前、胃の中に食べ物が入っていない状態の時を言います。

食べ物や胃酸の影響を受けたくない薬や、糖尿病の際に食事で高くなる血糖値を下げるための薬などは、食前に飲むことが多くなります。

また、胃の調子を整える食欲増進剤や、食べたあとの吐き気を事前に抑える薬などは食前に飲むと効果的です。



Q2、用法が食前となっている薬剤はどのようなものがありますか？その理由も教えてください。

A2、添付文書の用法が食前となっているもので、当院採用品をいくつかご紹介します。

薬品名	一般名	分類	適応・作用	食前投与の理由
ドンペリドン	-	制吐作用 胃腸運動促進	次の場合の消化器症状 (慢性胃炎、胃下垂症、 胃切除後症候群、抗悪 性腫瘍剤)	・食後では吸収がやや遅れるため ・消化管運動改善作用と制吐作用を併せ持っている ので、食事摂取前に服用した方が、これらの症状 も改善され、合理的と思われるため
リンゼス	リナクロチド	グアニル酸シク ラーゼC受容体 作動薬	便秘型過敏性腸症候群、 慢性便秘症(器質的疾患 による便秘を除く)	・臨床試験で、食前投与に比べて食後投与では 軟便・下痢の症状が多かったため
グーフイス	エロピキシバッド	胆汁酸トランス ポーター阻害薬	慢性便秘症(器質的疾患 による便秘を除く)	・食事により胆汁酸が分泌される前に服用すると 効果が発現しやすいため (胆汁酸トランスポーターを阻害して大腸に流入した 胆汁酸の再吸収を抑制し、大腸に流入する胆汁酸 の量を増加させ、排便を促す作用がある)
リベルサス	セマグルチド	GLP-1受容体作動 薬	2型糖尿病	・食事がリベルサスの吸収に影響を及ぼすことが確 認されたため (1日のうちの最初の食事又は飲水の前に、空腹時服 用)

Q3、漢方薬は、いつ服用したら良いですか？

A3、食前または食間の空腹時に飲むのが望ましいとされています。理由としては、漢方薬は自然の生薬を原料にしているため、体内への吸収も食材に似ており、食事の影響を受けやすいといわれているからです。しかし食後でも漢方薬の効果がまったく失われる訳ではありませんので食前(または食間)に飲み忘れたら、食後に服用しましょう。大切なのは、決められた1日量を一定期間飲み続けることです。



※参考文献:

- ・「知っておきたい くすりの知識」厚生労働省・日本薬剤師会作成リーフレット
- ・「医療スタッフのための漢方薬がわかる本」株式会社協和メディインター
- ・各薬剤添付文書 ・協和発酵キリンメディカルサイト
- ・アステラス製薬、中外製薬、持田製薬、MSD 各製薬会社情報サイト